

事務事業名		市長選挙の執行事務			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																																
政策体系	政策名	08: 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目																																
	施策名	34: 効率的で質の高い行政運営の促進					会計	款	項	目	事業																												
	基本事業名	01: 成果重視の行政運営の推進					01	02	04	03	00																												
根拠法令	公職選挙法																																						
所属	部課名	選挙管理委員会事務局			☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																																		
	係名		電話	0192-27-3111																																			
			内線	192																																			
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市長選挙の執行。 事前の準備、投票、開票に係る業務を行なう。 主な内容は以下のとおり ・選挙期日に基づく業務スケジュールの策定・管理 ・地区担当者説明会、併任書記・投票所庶務担当者・開票担当者の打合せ会開催 ・ポスター掲示場の設置 ・入場券・選挙公報の配布 ・期日前・不在者投票管理事務 ・当日の投・開票準備事務 ・当日の投・開票、開票結果の報告事務 事業費は、職員の時間外手当、消耗品費、投票管理者等の報酬等に支出される。						全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0			トータルコスト(A) + (B)	0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																																					
		都道府県支出金																																					
		地方債																																					
		その他																																					
		一般財源																																					
		事業費計 (A)	0																																				
人件費		正規職員従事人数																																					
		延べ業務時間																																					
		人件費計 (B)	0																																				
		トータルコスト(A) + (B)	0																																				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
選挙期日に基づく業務スケジュールの策定・管理、投・開票準備事務、地区担当者説明会、併任書記、投票所庶務担当者、開票担当者の打合せ会、期日前・不在者投票管理事務、当日の投・開票準備、当日の投・開票、開票結果の報告		ア	説明会開催回数
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	投票者数
23年度で完了 (次回市長選は4年後)		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
市長 市民(当日の有権者)		名称	
		単位	
		カ	立候補者数
		キ	有権者数
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
正確な手続きで迅速に選挙が行われる 公明公正な選挙として有権者の納得を得る		名称	
		単位	
		サ	正確さを欠いた事務手続き数
		シ	開票所要時間
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
計画的で質の高い行政運営がなされている			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費 財源内訳	単位						
		千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		26,248				21,424
	事業費計 (A)	千円	0	26,248	0	0	0	21,424
	正規職員従事人数	人		3				2
	延べ業務時間	時間		1,200				1,380
	人件費計 (B)	千円	0	4,800	0	0	0	5,520
	トータルコスト(A) + (B)	千円	0	31,048	0	0	0	26,944
活動指標	ア	回	-	6	-	-	-	6
	イ	人		28427				25885
	ウ							
対象指標	カ	人		2				3
	キ	人		34923				33814
	ク							
成果指標	サ	件		5				0
	シ	時間		1:03				1:00
	ス							

事務事業ID	0768	事務事業名	市長選挙の執行事務
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市政施行による。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成22年市長選挙の投票率は、76.55%であった。
期日前投票制度が浸透し、期日前投票率が増加する傾向にあるほか、数々の選挙啓発活動でも選挙に関する周知を図っており、有権者に対する選挙での投票環境は整備されてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

投票所について、スロープの設置要望や、不在者投票施設から投票立会人の派遣要望(書記)があり対応した。選挙運動については、街宣車(広報車)の開始時刻の徹底や、決められた場所以外での演説の排除に伴う苦情が寄せられ、それぞれ対応した。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 民主主義のもと、計画的で質の高い行政運営を目指して実施される選挙であり、政策と結びついている。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 公職選挙法に基づく選挙であり、妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 公職選挙法に基づく選挙であり、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 電算導入による投票環境の向上や、開票事務の更なる時間短縮等に取り組む。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 公職選挙法に基づく選挙であり、廃止、休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 類似事業はない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 期日前・当日投票とも、投票所の適正な人員配置と効率的な作業の実施。 投票開票事務の効率化を図り、従事職員数を減らすことで経費削減。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 期日前・当日投票とも、投票所の適正な人員配置と効率的な作業の実施と事前研修の充実。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 公職選挙法に基づく選挙であり、公平・公正に実施できている。

事務事業ID	0768	事務事業名	市長選挙の執行事務
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 全体的に、法に基づいた適正な事務執行が行われた。 期日前投票システムの導入により継続した投票環境の改善が図られ、同投票者も増加した。 開票事務では分類機の購入や開票集計システムの導入により効率化が図られ、今後も更なる検討を加えていく。																			
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 投・開票における適正な人員配置と効率的な事務事業の執行について検討する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上	●																															
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 庶務担当者に対する研修の実施、開票作業のシミュレーションやマニュアルの作成																																	

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	選挙管理委員会事務局長
-------	-------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

平成20年度の市議選から、期日前投票の受付における入場券のバーコード処理システムを導入しているが、今後、他の選挙においても選挙当日の投票所での受付に導入することを検討する必要がある。
 また、この電算導入と併せて、投・開票事務における、適正な人員配置と効率的な事務執行を引き続き推進する必要がある。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

投・開票事務の人員削減、開票事務の迅速化のためには、電算化の推進が必要であり、平成21年度では衆議院議員総選挙において、開票事務集計システムの導入や投票用紙分類機の購入を実施している。
 今後は、入場券のバーコード処理システムを選挙当日の投票所へ導入する可否について考えていくが、導入費用が高額であり、費用対効果を明確にした上で、計画的に導入することも検討していく必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	●		
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項